

お試しオフィス室内視察



つどいの広場での活動から



 しもじょうむら

2022年(令和4年)4月15日

12号

議会だより

令和4年度予算可決2ページ
予算説明会の質疑から3ページ
令和4年度 村長施政方針4ページ
第1回議会臨時会概要5ページ
第1回議会定例会概要5~6ページ
一般質問7~8ページ

飯伊市町村議会議員研修会9ページ
南部地区議員会評議員会9ページ
消防団任命式に参加して10ページ
小中学校の卒業式行われる10ページ
ロシアウクライナ侵攻反対について...11ページ
議長コラム・編集後記12ページ

Q リニア残土処理にかかる経費はいつまでかかるのか。工事は何年かかるのか。費用はJRにもっと負担してもらうことはできないか

A 2027年までに完了したい計画でいると聞いている。JRが費用負担をする部分、関連はするが村がやる必要がある部分がある。JRが負担する部分についてはもちろんだが、確定していない部分に関しては協議の上、できる限り負担してもらうように調整している。(総務課)

Q 地域おこし協力隊の現況と採用状況はどうですか

A 今は、1名が就農を目的に活動している。1年任期が残っているが、来年度は、本格的に就農に向けて下條村に居を構えて準備をしていく予定です。また来年度はそば打ちを習得名採用しています。そば打ちを習得してもらった後、村内で開業していただけることを目的としています。(総務課)

Q 就学相談事業の相談のしかた、内容はどんなになっているのか。

A まず保育所、小学校から就学相談をしたいお子さんの情報をあげてもらい、それを受けて、就学相談委員会のコーディネーターや南部地区の教員などが中心となって、授業参観や面談を行い、判断を行っている。(教育委員会)

Q 教育ローンの補給金はどのように支払っているのか？また対象者はどのくらいいるのか。

A 各家庭からの提出書類、金融機関から提供される明細に基づき支払っている。令和2年度の数になるが、教育ローンの利子補給が33名、学生支援機構の保証料の補給が2名いる。(教育委員会)

Q 高額医療費が伸びてきているがどんな病気で受診する人が多いか？

A 病気で多いのが筋骨格系(骨折や関節)の病気が26.6%で、ガン、糖尿病、精神、脳梗塞と続いている。脳梗塞は県平均と比べて下條村はおおよそ2倍となっている。(福祉課)

Q グループホーム建設の経緯はどうか、事業開始はいつか？

A 村でグループホームを作りたいという要望を出す中で、みんなの家の母体で受けて頂けることになったので、村で土地を買い上げるという判断をした。建設に対し県からの補助4千万円、村から4千万円を補助する。残りは高齢者生協が負担して建設する。入所定員は9人。7月から建設を始め、来年2月完成し、事業開始を予定している。(福祉課)

Q 野良猫の捕獲、去勢はどのように行うか？

A 保護用の檻は村で購入し、地域で設置し、保護した野良猫を去勢する。年4回行う予定。(振興課)

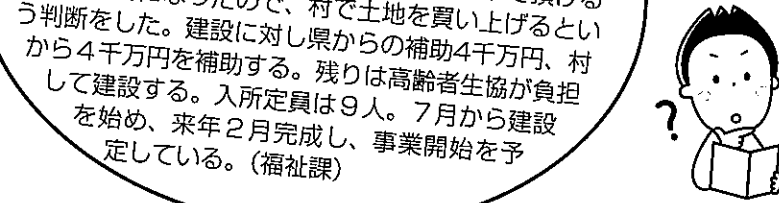
Q 新規就農者育成事業はどんな事業か、対象者は？

A 50才未満の認定新規就農者が対象となる。経営開始型は新規でも、親からの継承でもよいが、継承の場合、栽培方法を変えるなどしなければならぬ。経営発展型は金融機関からの借入れ入ることが条件となる。(振興課)

Q 橋梁(橋)修繕3か所はどこか？

A 濁沢橋、牛ヶ爪橋、3年度繰越の滝の沢橋で行う。舗装修繕をする際や幅員の狭い橋は、全面通行止めになると思う。(振興課)

予算説明会の質疑から



令和4年3月議会で

令和4年度予算を可決しました

令和4年度予算は、将来に向けた投資的経費の増により、過去20年間で最も大きな予算規模28億7,000万円(前年度より2億8,000万円増：前年比10.8%増)となります。

●持続可能な村づくりに…

本年度はすべての事業にSDGsの取り組みを位置づけ、将来を見据えた改修、更新などの整備を進めます。

また、DXを推進し、行財政経営の徹底した効率化や更なる住民の生活コストの軽減、子育て支援、安全安心な生活環境の整備といった住民生活に密着した事業に取り組む。

●新型コロナウイルス対策費は総額1億1,615万円

新型コロナウイルス感染症への取り組み、感

染防止・検査体制の更なる充実、生活応援商品券(20,000円/1人)、プレミアム20%の商品券の発行率の向上

●健やかでいられるむらづくりの推進

●社会教育環境整備の充実



…提言より抜粋…

議会は、昨年12月末
新年度予算に対する
提言を行っています。

●新型コロナウイルス対策について

感染拡大の状況に応じた検査の拡大、村民や村内事業者に対する支援の継続を求める。

●公共施設整備について

村内公共施設の老朽化に備え、年度計画に基づく整備の推進を求める。

●産業振興について

農産物のブランド化、および農業収入の向上に繋がる事業の推進を求める。

●防災減災対策について

住宅地や農地における急傾斜地など、災害危険区域に対する防災減災対策の強化を求める。

第1回 下條村議会

令和4年1月26日

住民税非課税世帯への給付金、コロナウイルスワクチン接種委託料として補正予算(第8号)を審議するため、1月26日に招集し、1日間の会期で行い、審議の結果可決しました。

▼補正予算

○令和3年度一般会計(第8号)

《歳入歳出それぞれ5,800万円を増額》

総額30億5,500万円に

【歳入の主なもの】

地方交付税を1,575万4千円、住民税非課税世帯臨時特別給付金事業補助金として4,006万5千円、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費国庫補助金として、218万1千円増額。

【歳出の主なもの】

住民税非課税世帯給付金として4,006万5千円、予防接種委託料として218万1千円、災害復旧工事費1,470万円などを増額計上され承認しました。

第1回 下條村議会定例会

◎新型コロナウイルス感染拡大第6波対応事業者支援の補正予算(第9号)可決。

◎「下條村お試しオフィス設置条例」の制定。

◎過去20年で最も大きい額となった令和4年度一般会計予算を承認しました。

会期 3月10日から3月24日まで

令和4年第1回定例会は、3月10日に召集され、24日までの15日間の会期で行われました。

一般会計補正の予算の専決処分の承認が1件、条例の制定が1件、条例改正が7件、補正予算5件、新年度予算5件が提出され、慎重審議の結果、すべて可決し閉会しました。

▼一般質問は、議員4名より

初日に行われた一般質問はP7以降に詳細が掲載されています。

▼条例の制定

○下條村お試しオフィス設置条例の制定

・陽阜(合南)地籍の旧店舗を改修し本年2月28日に竣工したお試しオフィスの設置条例を制定しました。平屋建て事務所(床面積225.18㎡)で今後の活用を期待します。(可決)

▼条例の一部改正

○議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

・期末手当支給月数について年間3.35月から0.1月分引き下げた3.25月に改正されます。また、昨年12月の期末手当との支給額調整が必要なことから6月期の期末手当が1.525月、12月期の期末手当が1.625月とする内容。また、令和4年

度の報酬について村長、副村長、教育長ともに0.625%減の減額率とする内容で期間は、令和4年4月1日から令和5年3月31日まで。(可決)

○一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

・人事院勧告に準拠した期末手当の支給月数の改定で年間2.55月から0.15月分引き下げ2.4月に改正されます。なお、本来であれば12月支給の期末手当から改正施行しますが、令和3年度の改正は臨時国会が開かれた12月以降となったため、本年6月で調整されることとなり、それにより支給月数は6月期の期末手当が1.05月、12月期の期末手当が1.2月となる内容。施行は令和4年4月1日。(可決)

○下條村第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

令和4年度 村長施政方針

令和4年度の下條村予算編成にあたっては、新型コロナウイルス感染症で悪化している社会経済活動を進める施策や元気な村づくりの重要課題である、人口減少や産業振興など中長期的な課題に目を向けた施策など6項目の重点テーマを基本に、下條村総合計画とまち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、村民の要望も総合的に判断する中で新年度事業を進めるとの方針が示されました。

1. 持続可能なむらづくり

防災・減災能力の向上で防災行政無線の更新工事や村道の橋梁補修工事、DX推進の足掛かりとしてスマホアプリシステムの構築、健康増進事業の推進で一人ひとりの健康の維持のためのクアオルト事業の検討、脱炭素社会を目指し環境保全型農業用資材の購入補助を進めていきます。

2. 新型コロナウイルス感染症対策

1人も取り残しの無いよう、ワクチン接種の推進と確かな暮らしや産業を守るコロナ対策に積極的に取り組みます。

3. リニア・三遠南信自動車道の開通を見据えた地域づくり

埋立関連事業を進めるためリニア関連工事対策協議会の開催や埋め立て予定地や道の駅周辺施設整備の検討を進めると共にリモートワークショップ「お試しオフィス」や空き家等の活用で移住・定住を推進します。

4. 地域ブランドの確立

村内のそばや親田辛味大根等の品質管理の向上を図り、伝統野菜や村独自の生産物の6次産業化を進めます。又、そば粉を使用したそば以外の商品レシピを作成しブランド化を進めます。

5. 村内の景観整備

国道や観光道路を中心に沿線の景観整備を行い、集落が持つ資源を活用した集落毎の景観指針を作成します。

6. 子育て・教育環境の整備

幼児から中学生までの連携した子育て支援やICT支援員配置事業の継続、ヤングコミュニティハウスの大規模改修工事、コスモホールの外壁屋根改修工事に取り組みます。



新型コロナ特に第6波対策について



申原 肇 議員

Q 全県にまん延防止等重点措置が1月27日発令され、感染警戒レベルが6に引き上げられた。村としてどのような対応策を取ったのか。

A 村では対策会議を数回開催し、公共施設の利用制限、職員の分散勤務、検査キットの配布等、音声告知等で周知しました。また、第6波対応事業者支援金の交付を専決処分し、支援実施を行った。

Q 村は昨年コロナ対策として様々な補助施策を実施して来たが、令和4年度のコロナ重点施策は。

A 重点施策として、村民1人当たり2万円の生活応援商品券の給付を、今年前半に、プレミアム商品券を後半に計画している。事業者支援として事業持続化給付金の給付を、小中学校の感染予防対策として施設整備、修繕等計画し、総額1億1000万余の予算を計上している。

Q ステルスオミクロン株等変異種の発生が予想され、第7波第8波と感染が拡大されることが予想されます。解除後の活動の再興・地域経済の再生はどのように考えているのか。

A 3月6日のまん延防止解除後の対応は、オミクロン株の特性、ワクチン接種の進行、新規感染者数などを考慮し、社会活動ができる方向で公共施設の使用を決め、新年度予算の早期実施に取り組む方向である。



・一般職同様、人事院勧告に準拠した期末手当の支給月数の改定で年間2.55月から0.15月分引き下げ2.4月に改正されます。なお、会計年度任用職員の期末手当については、常勤の職員の期末手当の例により進用する規定がないことから、6月支給の経過措置はない。施行は令和4年4月1日 (可決)

○一般職の任期付職員採用等に関する条例の一部を改正する条例について

・一般職の職員の給与に関する法律の一部を改正する法律が国会へ提出されたことから、村条例の一部改正が必要となりました。今回の改正で期末手当支給月数が年間合計3.25月に改正されます。施行は令和4年4月1日 (可決)

要件のうち、1年以上在職とされていた期間が廃止されたこと、子の看護休暇及び短期介護休暇の6月以上継続勤務との要件を6月上の任期又は6月以上継続勤務に緩和されたことなど育児休業を取得しやすい勤務環境の整備に関して改正する内容。施行は令和4年4月1日 (可決)

○課設置条例の一部を改正する条例について

・組織改編に伴う条例の一部改正。税務会計室を住民税務課と改称し、従来は福祉課所管であった住民税を住民税務課所管とし、同課を税務会計係と住民税係の二係制とする。施行は令和4年4月1日 (可決)

第6波による影響が顕著である事業者へ速やかに支援金を支給する必要性があるため2月2日に専決処分を行った。(承認)

○一般会計(第10号補正) 歳入歳出4,000万円を増額

総額34億8,900万円

【歳入の主なもの】

村民税及び軽自動車税などが総額で3,422万5千円、地方交付税は普通交付税を交付決定額が前年より約1億8,000万円増となり2億474万8千円、繰越金は、3億1,346万2千円の増額

繰越明許費は社会保険・税番号制度システム整備事業、小中学校の新型コロナウイルス対策事業など3事業、452万4千円を次年度へ繰り越すこととなった。

円、第6波対応事業者支援交付金追加分として95万円、小中学校サーキュレーター購入費等で184万円などを計上。民生費では後期高齢者医療療養給付負担金1,016万3千円の減額、繰出金は介護保険特別会計へ313万9千円、後期高齢者医療特別会計へ80万1千円をそれぞれ減額、土木費では村道改良舗装事業の減により関係経費691.9万7千円の減額。

なお、コロナ禍で多くの行事等が中止となり各科目にわたり予算の減額を行った。

基金積立には公共施設整備基金へ2億9,000万円、ふるさと応援基金に600万円などの積立計上を行い、75億8,242万1千円になる見込み。

【歳入の主なもの】

保険給付費等交付金の給付金の見直し等により987万8千円増、保険税が318万2千円増など。

【歳入の主なもの】

保険給付費の一般療養給付費498万1千円、高額療養費250万5千円などの増、令和2年度の保険給付費交付金精算による県への返還により229万3千円の増額。(可決)

○下條村介護保険特別会計(第2号補正)

《1,900万円の減額》

総額4億8,000万円。

【歳入の主なもの】

給付費等の減額に伴い、国庫支出金418万6千円、支払基金交付金463万9千円、県支出金306万1千円などの減額。

【歳入の主なもの】

企業会計以降業務委託料672万3千円、水道施設台帳整備委託料212万7千円の減など。(可決)

【歳入の主なもの】

水道使用料が141万円の増、簡易水道施設整備事業公営企業会計適用債が670万円の減など。

【歳入の主なもの】

○下條村営水道特別会計(第2号補正)

《500万円の減額》

総額8,900万円に。

【歳入の主なもの】

療養特別会計(第1号補正)

《100万円の減額》

総額4,800万円に。

【歳入の主なもの】

保険料徴収見込み額を精査し、21万7千円の減、繰入金で80万1千円の減額など。

【歳入の主なもの】

広域連合納付金で100万円の減。(可決)

経済支援策について



申原 寛治 議員

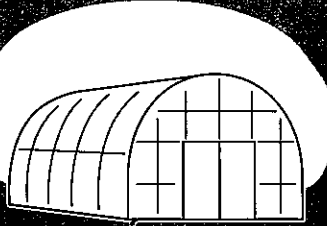
Q 石油価格高騰を受けている福祉施設や、ハウス野菜・花・キノコ栽培農家を支援すべきではないか。外食需要減で米の買入れ価格が低下している面積の多い担い手農家中心に支援を検討すべきではないか

A 灯油代の補助は実施しない。売り上げ減少の農家は事業持続化支援金の活用を。米価下落による支援はしない。

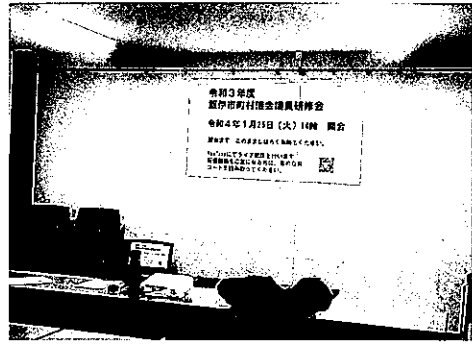
国保税の算定について

Q 国保税値上げはすべきではないと思う。均等割りで徴収している未就学児の税額が半分公費負担となるので残りを村で支援して無料にすべきではないか。コロナ感染で加入者本人が休業した場合の傷病手当支給を検討すべきではないか

A 医療費は高額医療など大幅に増えてきた。県単位の税額の統一化に向け6年間で少しずつ上げていく方向だ。均等割り補助を支援している自治体は少ない。制度の改定意見を国に挙げて欲しい。国保加入事業主の、コロナ感染時の傷病手当支給は検討する



一般質問 (3月)



飯田市議会主催の飯伊市町村議会議員研修会が1月25日開催され、折しも新型コロナウイルス第6波急拡大の為オンラインで参加しました。同志社大学名誉教授の新川達郎氏を講師に迎え「大災害・感染症と議会」(災害時における議会の機能維持について)のテーマで講演されました。近年は激甚災害の頻発や南海トラフ地震の発生懸念、新型コロナウイルス感染症拡大など

今までに経験した事がない事態に晒されている。この様な非常時地域域の防災、減災、復興に議会・議員はその役割を継続的に果たしていく必要がある。災害対策の要は市町村行政であるが、平成23年の東日本大震災で被災した自治体は執行機関としての機能が大きく損なわれ、これが契機となり地方自治体に業務継続計画(以下BCP)の策定が広がっ

た。議員も被災者或いは陽性者となり得る事から、二元代表制の議会も大災害やパンデミックによつて機能停止に陥らないよう議会独自のBCPを策定し、危機管理体制を整備していかなければならない。



下條村議会も新型コロナウイルスの拡大防止に向けた危機管理を策定していますが、激甚化する風水害や大地震への備え、コロナ感染症対策など住民生活に直結する課題を行政と共に取り組む為にも議会BCPの策定は急務と感じました。

(田中兼次)



3月2日南部地区議員会評議員会が、コロナ対応によりオンラインで開催され、内容を報告いたします。当日は、出身町村の役場において開催されました。



12月に地元選出国会議員2名に阿南町にて要望活動を果たした。また今後についても強力に進めて行くとの事でした。次に令和3年度の事業報告、決算状況、令

(串原 肇)

飯伊市町村議会議員研修会 1月25日

南部地区議員会評議員会 3月2日

関連人口、移住・定住人口を増やすために



丸山浩子 議員

Q 村が取り組んでいること・課題は何か。

A 重点政策として、移住イベントに年15回参加。平成29年から3年間で13組 27人の移住、コロナ禍中にはオンラインイベントをして、この2年間に6組12人の受入をした。空き家登録制度の活用、住宅地確保に前向きに取り組む。地方創生推進のため、松川、阿智、下條で合同職員研修の实践中。4年度に開設する「お試しオフィス」利用者にも参加してもらい、元気の出る村づくりに取り組む。

全ての子どもたちが良質で多様な学びのできる学校にするために

Q 集団で学ぶことが苦手な子のために、校内で静かに学習できる教室の設置は？

A 児童生徒が適切な学びの場で学習や支援が受けられるようにしている。通常学級で辛くなった時は、特別支援学級や相談室で柔軟に対応している。中学校では、4月から村費講師1名、不登校支援講師1名任用し、誰1人取り残されることのないように努める。

Q 村総合計画の中の「学校教育の充実」の目標はどう実践？

A 「しもじょっ子カッセイカ会議」を立ち上げ、「ふるさと下條を知り、誇りと愛着の持てる教育」を実践している。



お試しオフィス視察

一般質問 (3月)

新型コロナウイルス抗原定性検査簡易キットの活用について



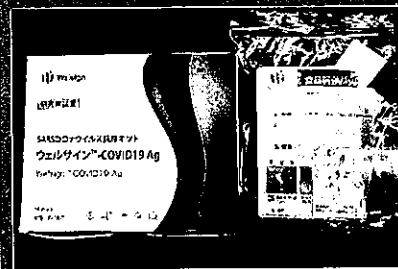
田中兼次 議員

Q ①抗原検査キットの活用状況とアンケート結果から水際対策としてどの様に評価をしているか。

A 抗原検査簡易キットは昨年7月臨時議会で補正計上し8月から本年1月20日までに計3100個を用意し3月6日時点で2260個の利用を確認している。感染警戒レベルが上がると利用希望数は多くなる傾向であったが6月頃までは在庫数(840個)で対応可能と見込んでいる。アンケート結果は98%が「検査で安心できた」77%が「今後も利用したい」との事から水際対策と不安解消の効果を認識している。

Q ②村事業の開催は感染警戒レベルに応じた対応が続くと思うが抗原検査キットを活用したモデル事業を検討しては如何か。

A 村の成人式では簡易検査を活用した先駆けとして正にモデル事業となっている。簡易キットは現在、行政、企業、薬局等で容易に入手可能な状況となっておりモデル事業にはなり難いと考え。モデル事業に向くような提案には検討したい。



抗原検査簡易キット

会期中の3月15日、ロシアに対し、ウクライナへの侵略、軍事行動を直ちに中止するよう求めるとともに、政府に対し、現地在留邦人の安全確保に努めることと、合わせて国際社会と緊密に連携しつつ、毅然たる態度でロシアに対して制裁措置の徹底及び強化を図り、即時無条件でのロシア軍の撤退を求めるよう要請するため、議会運営委員長より決議案が提出され、全員賛成により下記の決議案が決議されました。

ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議

令和4年2月24日、ロシアは国際社会の度重なる警告を無視し、ウクライナへの本格的な軍事侵攻を開始した。

この侵攻は、明白な国連憲章に反する行為であり、国際秩序の根幹を揺るがすもので、断じて容認できない。

ロシアは核兵器の使用を示唆しており、世界で唯一の戦争被爆国である日本として、このような核戦力による威嚇と使用は断じて許すことができない。

下條村は平和精神に則り「核兵器廃絶・平和自治体」を宣言しており、このような軍事的暴挙は断じて容認できない。

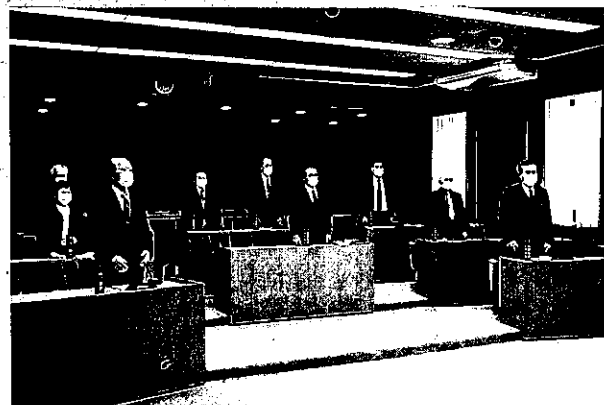
よって、下條村議会は、ロシア軍による攻撃やウクライナへの主権侵害に断固抗議するとともに、世界の恒久平和の実現に向け、ロシア軍の即時撤退と国際法の順守を強く求める。

また、政府においては、現地在留邦人の安全確保に努めるとともに、我が国への影響対策について、万全を尽くすよう要請する。

以上、決議する。

令和4年3月15日

長野県下條村議会



全員起立により、決議されました。



「ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議する決議(案)」について提案理由の説明をする申原肇 議会運営委員長

消防団任免命式に参加して

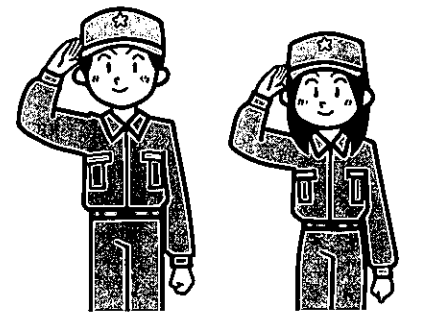
今年の消防団任免命式は、時折強風が吹きつけるとても寒い日でしたが、消防団員は整然と整列し、式典に臨まれていました。

任期満了に伴い、久保田団長が勇退し、熊谷(智)新団長のもと13名の新入団員を任命しました。

今回任免された13名の前団員の皆さんにおかれては、任期の長短はありましたが日夜下條村の消防活動にご尽力いただいたことに大変感謝いたしますとともに、下條村の団長のみならず、飯伊消防協会長としてもご尽力いただいた久保田前団長には重責を耐えながらのご活躍に感謝の念が絶えません。退団された皆さん本当にお疲れさまでした。

さて、式典では「コロナ禍により思うような訓練はできないができる訓練をし、有事に備えることと、団員の士気の高揚と技術の向上を図る」と団長挨拶でも心強い言葉がありました。近年は温暖化により日本各地で災害が毎年起きています。議会としても団員の皆さんの消防活動を支援していくとともに、住民の皆さんも災害発生時に備えて日頃から防災に対する意識の高揚を図っていただき、避難訓練や安否確認訓練など防災訓練にも積極的に参加いただきますようお願いいたします。

(竹村宗次)



小・中学校の卒業式行われる

3月17日、巣立つ子らを寿ぐように、春の光が注ぐ中で挙行されました。

小学校では、合唱「旅立ちの日に」の「勇気を翼にこめて希望の風に乗れ：夢を託して」のクライマックスを一杯歌う卒業生の声に、心を動かされました。規模を縮小、向かい合う在校生も4・5年生だけの卒業式。楽しみな行事も中止や企画変更などに見舞われた、この2年間の思いをこの歌に託しているように感じとれました。校長先生の、卒業生への励ましの言葉を、教頭先生が代読されました。コロナ禍で様々な困難がある中でも、立ち止まることなく自分たちの確かな歩みをしたことを讃える式辞でした。

100周年記念プロジェクトでのアルミ缶回収活動で得た記念樹ヤマボウシ。その花が咲く頃、どんな中学生になっっているでしょうか。4月から始まる中学校生活が、豊かな学びに出会え、幸せな日々であることを願いつつ見送りました。

中学校では、卒業生34名が少し緊張の面持ちながら、凛々しく入場しました。卒業証書を受け取る姿に、3年間の成長の確かさが現れていました。校長先生から、コロナ禍でもできることをやり抜いたことや第50回清明祭を、相手を大切にしながら皆で高め合いながら成し遂げたことへの賛辞がありました。送辞には、3年生と共に過

ごした喜びや、頼りにし信頼し、敬意を抱いてきた思いが詰まっています。答辞を聞きながら多感な3年間に、苦しくても躓いてもくじけずに進んできて今があることに共感しました。

村長さんの祝辞にあったように、「夢をもつて生きる」人になることを願わずにはいられません。

一点を見つめ、一足踏みしめるように巣立っていきましました。故郷の山も川も人も、いつもいつまでも応援しています。

前途に幸多かれ。
(丸山浩子)





南信州広域連合議会、 常任委員会です算審 議

南信州広域連合議会の令和4年第1回定例会が、2月14日から28日までの日程で開かれました。

今議会は広域連合議会に常任委員会が設置されて初めての定例会となり、初日に令和3年度補正予算や令和4年度予算等の議案が総務産業、医療福祉、消費環境の3委員会に付託され、委員会審議を経て最終日に本会議で可決されました。

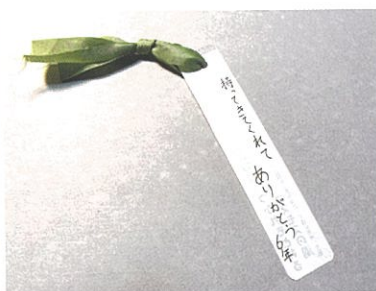
私の所属する医療福祉委員会では、老人福祉事業の介護認定審査や老人ホーム入所調整および在宅医療・介護連携推進に関する予算、社会福祉事業では、障がい者支援や看護師

等確保対策事業に関する予算等について審議しました。

所属する委員会の管轄分野に集中した審議となり、詳細な説明と活発な質疑が行われました。また管轄分野についてより深く勉強したいという意見も多く出るなど、常任委員会制の効果が見られる委員会となりました。

下條小学校6年生が百周年記念の植樹会開催

下條小学校の6年生が企画した創立百周年記念の植樹の会が3月11日に行われ、児童が選んだ「常緑ヤマボウシ」の木が校舎入口に植えられました。6年生全員が参加し、ひと



アルミ缶回収のお礼

りずつ幼木の根鉢のまわりに土を入れ、突き棒で固めて植えていきました。

昨年10月に招かれて行った教室では、木の種類や植え場所などについて、みんなで話し合ったことを、子ども

たちがいきいきと説明してくれました。

植樹会では助言に対してお礼の言葉を頂きましたが、私の方が児童の皆さんから何倍も元気をもらい、素晴らしい体験をすることができました。

村のケーブルテレビの大切さを実感

ロシアのウクライナに対する侵攻が始まってから、連日、悲惨な映像がテレビに映し出されています。侵

攻が長期化するにつれ、このような報道による精神的な影響が話題に上るよう



ふれ愛パークにて

になりました。

こんなとき、保育園児や小中学生から元気な高齢者の皆さんまで、おおぜいの村民が登場する村のCATVの放送は、見る人にとって大変癒しの効果の高いものだと感じます。

3月25日に開かれた村の放送番組審議会にあたって、村が自主制作する番組の大切さを改めて感じました。

編集後記

まん延防止等重点措置も3月21日をもって全国の都道府県で解除されました。この2年間は、日々の生活や環境も、コロナの感染前と比べ大きく変化しています。地域の祭典や行事もできない状況が続いてきましたが、新年度を迎え村の活動や行事も徐々に開催するようになっていきます。各地区においても、地域活動や地域コミュニティの場、再開に向け、これからは、感染症対策をとりながら、地域社会活動が一日でも早く以前のような日常生活が取り戻せるためにどう取り組むのか、みんなで知恵を出し、地域活動が開催できる方法を考えたいものです。

(串原稔博)

編集委員会

- 委員長 串原 肇
- 副委員長 丸山 浩子
- 委員 串原 寛治
- 委員 福澤 利尚
- 委員 串原 稔博
- 委員 田中 兼次